

事業所における自己評価結果(公表)

2020. 3月事業所名: NPO法人ロッツ ネウボラロッツ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11			
	②	職員の配置数は適切であるか	11			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11		視覚支援カードや床にマーク・線で分かるようにしている	
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11		職員会議、振り返り、個別支援計画	
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげている	11		アンケートを実施、連絡ノートの活用、ニーズも調査している	
	⑦	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	11			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		11		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11		毎日の振り返り、月1回の研修、その他の研修、外部研修、内部研修	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11			職員間で共有していくことが課題
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11			

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されている	11			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援がおこなわれている	11			情報を共有する機会を増やしていく
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	11		振り返りなどで話し合い見直している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11			年計画での検討をしている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	11			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11			
	関係機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11			
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	該当者なし			
㉔		(医療的が必要な子どもや重症心身障				

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携		害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連 絡体制を整えている	該 当 者 な し			
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等 との間で、支援内容等の情報共有と相 互理解を図っている	11		訪問・体験 をしている	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学 校(小学部)との間で、支援内容等の情 報共有と相互理解を図っている	該 当 者 な し			
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達 支援事業所、発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を 受けている	11		医療機関や 発達支援センター (愛徳)と連携	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との 交流や、障害のない子どもと活動する 機会がある	11			
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域 の子ども・子育て会議等へ積極的に参 加している	11			
	③⑩	日頃から子供の状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題につい て共通理解を持っている	11			
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点か ら、保護者に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等)の支援を 行っている	11			
	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧 な説明を行っている	11			
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」のねらい及び 支援内容と、これに基づき作成された 「児童発達支援計画」を示しながら支援 内容の説明を行い、保護者から児童発 達支援計画の同意を得ている	11			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み 等に対する相談に適切に応じ、必要な 助言と支援を行っている	11			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催する等により、保護者同士 の連携を支援している	11		ママブックの作成、 ボランテ ィアで草ひき、行事 の準備など	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れ について、対応の体制を整備するととも に、子どもや保護者に周知し、相談や申 し入れがあった場合に迅速かつ適切に 対応している	11		相談ノートの活用	

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11			
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	11			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		連絡帳、送迎時の伝達	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		11		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		11		現在、作成中
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施している	11			
	④③	以前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	該当者なし			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11			毎月の研修の中で実施
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11			